

### R3 英語に関する自校反省

	成果	課題と今後の方向
英語教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の流れをパターン化し、読み書き、聞く、スモールトークなど、意図的に位置づけることができた。</li> <li>・ALTの配属時間が少なかったため、学級で英語の授業を進められたことは勉強になった。</li> <li>・子どもの実態に合った英語をやっていた。</li> <li>・ALTはとても熱心に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な教材が分からず、準備に時間がかかった。</li> <li>・英語の学習の進め方について、学年部で統一しておく、打ち合わせの時間を短縮できるのではないか。</li> <li>・T1は教師、T2がALTという構図が逆転してしまった。</li> <li>・ALTに授業を提案していくようにする。</li> <li>・ALT主導だと英会話教室風な1時間になる。(脱線が多い、本題までが長い)</li> <li>・可能な限り担任主導で授業を仕組む。</li> </ul>